

バローHD

滋賀のスーパー子会社化

「フタバヤ」総菜販売力を強化

バローホールディングス(HD)は29日、滋賀県の湖北、湖東地域でスーパーマーケット3店舗を展開するフタバヤ(同県長浜市)を同日付で完全子会社化し、発表した。同社が強みの総菜の販売力などをバロー各店舗の売り場展開に生かし、収益力の強化につなげる。HDの子会社は41社目。取得額は非公表。

(河合修)

フタバヤは、1976年設立。青果と総菜の販売力が強みで、豊富なバリエーションの総菜や贈答用の果物に定評がある。手作りの和総菜のバイキングなどで

大手の競合店と差別化を図り、一定の収益を確保していた。2017年9月期の売上高は48億6200万円。

新社長には、森克幸HD

取締役兼バロー常務が就任し、フタバヤの中川智之社長は退任した。従業員は引き続き雇用し、店名も存続させる。

バローは県内外に243

店舗を展開し、滋賀県内に14店舗を持つ。今回の子会社化で、同県でのスーパーマーケット事業の売上高はグループ全体で200億円程度になる見通し。

HDによると、仲介会社を通じてHDに取得の打診があり、5月ごろから交渉を開始。株の譲渡を検討するフタバヤがHD傘下に入ることで合意した。